



2022年4月7日

各 位

### カーボンニュートラル実現に貢献する潤滑油・グリースの開発について ～植物由来のベースオイルを使用した低炭素商品ラインアップ～

当社（社長：齊藤 猛）は、カーボンニュートラル実現に貢献する潤滑油・グリース（以下、潤滑油等）の開発に成功しましたのでお知らせいたします。

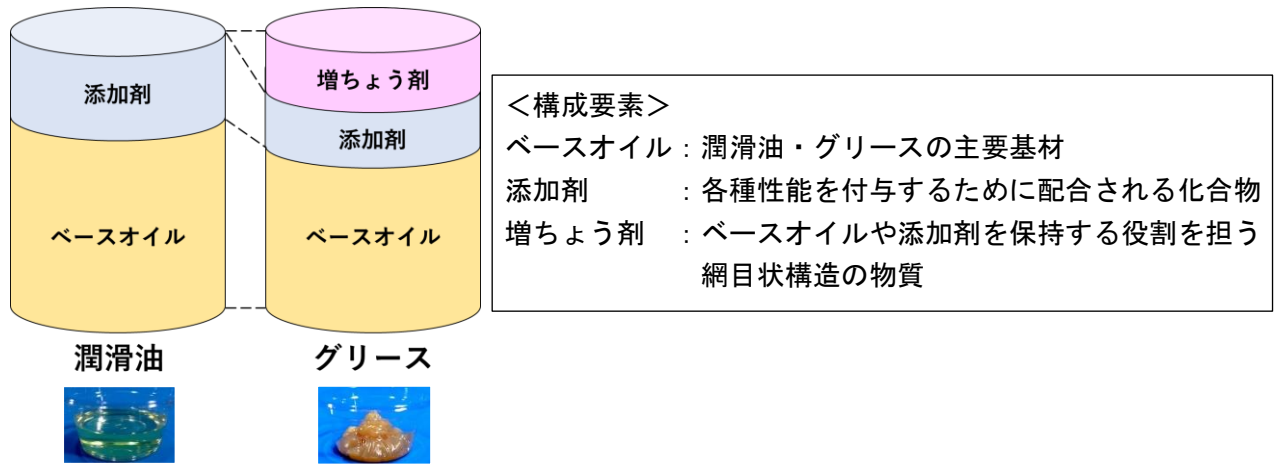
当社は2040年のグループ長期ビジョンにおいて脱炭素・循環型社会への貢献を掲げて取り組みを進めており、潤滑油等についても、製品ライフサイクル上におけるCO<sub>2</sub>排出量を抑えた商品開発を進めております。

今般、当社は、サトウキビや大豆を原料とする植物由来のベースオイル<sup>※1</sup>を使用した潤滑油等（自動車用・工業用潤滑油およびグリースの計3種）の開発に成功しました。今回使用する植物由来のベースオイルは炭素と水素のみで構成され、本ベースオイルを100%用いた潤滑油等の開発は、国内初の成功事例となります。今後、原材料の調達や製造について検討を進め、2022年度中の商品化を目指します。

当社は高い省エネルギー性能を有する潤滑油等の開発、販売を通じて使用時におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでまいりましたが、今後は、原材料調達時におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減<sup>※2</sup>にも取り組み、さらなるカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

以 上

※1 潤滑油・グリースの構成要素（概略図）



※2 潤滑油等の製品ライフサイクルにおけるCO<sub>2</sub>排出量の変化（概念図）

